

祈りの友 第183号

2022年 5月

「リンク」(国際CEFニュース) から

「主の祈り」を実践する



「みこころが天で行われるように
地でも行われますように。」

(マタイ 6:10)

フリック・J・レンズバーグ
南アフリカ インド洋地区主事

私たちはこの「主の祈り」の答えとなる
ことができるでしょうか。

80年間、CEFは子どもたちのために世界
で大きな働きをしています。なぜこのような
働きができ、貢献できたのか、多くの理由が
考えられます。

一番大きな理由は神さまの恵みとあわれみ
です。

二番目は創設者のミスター・オーヴァーホ
ルツァーからリース・カウフマン会長まで、
すべてのリーダーが共通して持っていた一つ
のことです。それは彼らが皆、祈ることを信
じていたことと、神さまのみことばに従った
ことです。

「みこころが天で行われるように地でも行
われますように。」の祈りが、私たちの祈りの
答えの一部となるように考えましょう。

1. 神の側

私たちは平和のために、健康、必要、リバ
イバル、祝福等々のために祈ることができる
ことを知っています。天国には必要も病気も
死もないので、神さまは地が私たちに人間の
墮落の前と同じようになるように祈りなさい

と言っておられます。

2. 私たちの側

従うこと—これは一番難しいことです。私
たちは子どもたちへの働き人、またクリスチ
ヤンとして、みこころが天で行われるように
地でも行われるように自分自身を神さまに変
えていただかなければなりません。

いくつかの示唆と例を挙げますが、あなた
の文化、あなたの国、あなたの地域、あなた
の家、あなたの生活に合わせてこのリストを
完成してください。

「みこころが天で行われるように地でも行わ
れますように。」

- 心配する代わりに—神さまとみことばを信
頼する。
- うわさ話をする代わりに—この人々につい
て神さまにお話する。
- 文句を言う代わりに—あなたが持っている
もので神さまに感謝し栄光を帰す。
- けんかをする代わりに—あなたが以前けん
かをしていた人と和解する。
- 呪う代わりに—この人々を祝福する。(民数
記 6: 24-26)
- さばく代わりに—問題のある人を訪問する。
- 他人を責める代わりに—あなたの態度を変
える。
- 自分のやり方でする代わりに—主に倣って
同じことをする。

・逃げる代わりに一神のすべての武具を身につけ強く立つ。

・悪意のないうそをつく代わりに一愛をもって真理を語る。

・働きをやめる代わりに一すべての国のすべての子どもを毎日キリストに導くために共に労しましょう。

そうすれば私たちは祈りの答え、天国が地上に来ることを見、また経験するでしょう。

私たちも皆、パウロと同じように次のように祈りましょう。

「私を見ならってくださいい…」(I コリント 11 : 1)

「もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。」
(ガラテヤ 2 : 20)

祈り：「愛する主よ。この 80 年間のあなたの恵みとあわれみを感謝します。私たちがあなたの祈りの答えとなるように助けてください。あなたのみことばにより、またあなたに従うことにより、世界と子どもたちを変えるように私たちを助けてください。アーメン」

日本 CEF (日本児童福音伝道協会)

〒311-3434

茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299 (28) 2031

FAX 0299 (28) 2028

E メール : japancef@cef.or.jp

ホームページ : <http://www.cef.or.jp>

振替 00160-1-59313

宗教法人 日本児童福音伝道協会

ウクライナのために祈る

引き続きウクライナのためにお祈り下さい。

・私たちがかわっているシェルターで暮らす子どもたちのために。彼らの心が福音に開かれるように。特に現在精神病院で治療を受けている少年 T のために。トラウマにならないように。

・銀行システムが機能し、働き人が必要な資金を受け取れることを感謝します。私たちは不可能を可能にする偉大な神に仕えています。銀行が引き続き営業して、多くの困難が緩和されるように。

・多くの場所や建物に残された地雷の危険から、市民、特に子どもたちや 10 代の若者が守られるように。

・ロシア軍から解放された町や村を神に感謝します。特にウクライナ CEF 本部のある町が解放されたことを感謝します。

・ウクライナの 680 万人の子どもたちのために。

・ウクライナで働く 69 名の職員とその家族の安全のために。

・ウクライナの現状によって、多くの子どもたちにイエス・キリストを指し示すことができるように。

・ヨーロッパ CEF のリーダーたちが、この不安な時期にウクライナをサポートできるように。

・ロシアの 2,570 万人の子どもたちのために。